

別添 2

※関連機能(道路損傷等通報機能・公園遊具損傷等通報機能・避難管理システム(他システム)連携機能)

奈良市地理情報システム関連機能

仕 様 書

令和7年 6 月
奈良市総合政策部
DX 推進課

1 要求仕様（関連機能）

地理情報システムの関連機能において、次の要件及び「別紙6 システム基本機能」、「別紙8 公開型 GIS サービスレベルアグリーメント」を満たしていること。また、各システム関連機能機能（避難所連携システムを除く）について、「運用手順書」を奈良市に提供し、利用期間中に運用の変更があった場合には、適宜、修正を行い、提出を行うこと。

1-1 道路損傷等通報機能

(1) 概要

道路の穴ぼこや街路灯の不点灯を通報し職員が公開する機能

(2) 要件

① 要求仕様

- (ア) 市民が、専用アプリではなく Web ブラウザ上で通報が行え、市ホームページ上から通報システムの操作が行えるサービスを提供すること。
- (イ) 統合型GISに登録されている地図データを利用可能にすること。これらに伴いインターネット接続系から、統合型GISに通報システムにより添付された写真等データを送れる機能をもつシステムのサービスを提供すること。
- (ウ) 将来的に防災事業などの総合的な施策の推進に活用できること。
- (エ) スマートフォン・タブレットで利用できるレスポンスデザインを実装すること。

② システム要件

- (ア) 通報された地点と写真は市担当者の承認により一般公開される仕組みを有すること。尚、市担当者は投稿地点を削除できること。
- (イ) 投稿内容に不適切なコメントが含まれていた場合、担当者がコメントを修正し公開できるしくみを有すること。
- (ウ) 写真情報に不適切な画像（個人情報等）が含まれていた場合等担当者が写真の編集を行い、公開できるしくみを有すること。
- (エ) 通報された通報地点と写真情報は、LGWAN 回線で既に稼働している統合型 GIS で利用できるよう、スムーズファイルで転送できる形式(PDF・CSV)で出力できること。尚、統合型 GIS で通報情報を活用するために、CSV にはコメントなどの通報内容の他に「通報地点(位置情報)」、「写真(PDF 形式)」のファイル名を出力すること。
- (オ) 本賃貸借中に通報システムの開発に影響のある法改正等があった場合には、原則として賃貸借の中で対応すること。
- (カ) 管理機能は、投稿日による並び替えにより新着情報を確認できること。
- (キ) 投稿機能はアプリケーションをインストールすることなくブラウザのみで利用できること。
- (ク) 職員が、誰がどのような投稿をしたことを把握するため指定したメールアドレスに以下の情報メールが届くこと。

担当者は、管理機能にログインして、チェックをお願いします。

主題地図名:主題地図名(コンテンツ名)

レイヤ名:レイヤ名

種別:投稿種類

発見した日:20xx/xx/xx

発見した人:ニックネーム

発見した時の状況:投稿者のメッセージ

管理者への連絡内容:投稿者のメッセージ

場所の URL:https://xxxx.xxxx.xxx.html(クリックすると場所が表示)

③ ソフトウェア要件

- (ア) 拡張性、セキュリティ、経済性等に配慮した機器構成並びにパッケージ商品を選定すること。
- (イ) 一般財団法人全国地域情報化推進協会の地域情報プラットフォーム標準仕様に準拠しているシステムを選定すること。
- (ウ) ソフトウェアの基本的な構成は、OS、地理情報システムエンジン、RDBMS、アプリケーション等から構成し、保守性の高いシステムであること。
- (エ) 設定変更等で行える軽微な修正は、保守の範囲で実施すること。

④ 管理機能

「奈良市地図情報公開サイト」の管理者が「道路損傷等通報システム」の投稿機能において、以下のシステム設定変更が行えること。

- (ア) 管理者は自由入力(コメント等)の削除を行うことができる。尚、投稿者のニックネームは自由入力することが可能とする。
- (イ) 管理者は自由入力(コメント等)、ニックネームの文字数を制限することができる。
- (ウ) 「穴ぼこ」「街灯」以外の投稿ができるように投稿種類の追加が行えるようにする。
- (エ) 管理者は選択式項目の項目追加(穴ぼこ、街灯+カーブミラー)を行うことができる。
- (オ) 管理者は追加した項目のプルダウンを設定することができる。
- (カ) 管理者が利用規約の修正が行えるようにする。
- (キ) 管理者が追加できる投稿機能の種類は原則「道路損傷等通報システム」の1種類とする。
- (ク) 管理者は凡例の作成・設定ができるものとする。

1-2 公園遊具損傷等通報機能

(1) 概要

公園遊具損傷を市民が通報し職員が公開する機能

(2) 要件

① 要求仕様

- (ア) 市民が、専用アプリではなく Web ブラウザ上で通報が行え、市ホームページ上から通報システムの操作が行えること。
- (イ) 統合型GISに登録されている地図データを利用可能にすること。これらに伴いインターネット接続系から、統合型GISに通報システムにより添付された写真等データを送れる機能をもつ

システムのサービスを提供すること。

- (ウ) 将来的に防災事業などの総合的な施策の推進に活用できること。
- (エ) スマートフォン・タブレットで利用できるレスポンスデザインを実装すること。

② システム要件

- (ア) 一般市民が公園損傷を通報する際のシステム画面には背景地図として奈良市が管理している公園エリアを表示すること。さらに、当該エリア(奈良市の管理している公園ポリゴン領域)内のみ通報できるよう、システムで制御すること。
- (イ) 通報された地点と写真は市担当者の承認により一般公開される仕組みを有すること。尚、市担当者は投稿地点を削除できること。
- (ウ) 投稿内容に不適切なコメントが含まれていた場合、担当者がコメントを修正し公開できるしくみを有すること。
- (エ) 写真情報に不適切な画像(個人情報等)が含まれていた場合等担当者が写真の編集を行い、公開できるしくみを有すること。
- (オ) 通報された通報地点と写真情報は、LGWAN 回線で既に稼働している統合型 GIS で利用できるよう、スムーズファイルで転送できる形式(PDF・CSV)で出力できること。尚、統合型 GIS で通報情報を活用するために、CSV にはコメントなどの通報内容の他に「通報地点(位置情報)」、「写真(PDF 形式)」のファイル名を出力すること。
- (カ) 本賃貸借中に通報システムの開発に影響のある法改正等があった場合には、原則として賃貸借の中で対応すること。
- (キ) 投稿機能はアプリケーションをインストールすることなくブラウザのみで利用できること。
- (ク) 職員が、誰がどのような投稿をしたことを把握するため指定したメールアドレスに以下の情報メールが届くこと。

担当者は、管理機能にログインして、チェックをお願いします。

主題地図名:主題地図名(コンテンツ名)

レイヤ名:レイヤ名

種別:投稿種類

発見した日:2020/05/12

発見した人:ニックネーム

発見した時の状況:投稿者のメッセージ

管理者への連絡内容: 投稿者のメッセージ

場所の URL:https://xxxx.xxxx.xxx.html(クリックすると場所が表示)

③ ソフトウェア要件

- (ア) 拡張性、セキュリティ、経済性等に配慮した機器構成並びにパッケージ商品を選定すること。
- (イ) 一般財団法人全国地域情報化推進協会の地域情報プラットフォーム標準仕様に準拠しているシステムを選定すること。
- (ウ) ソフトウェアの基本的な構成は、OS、地理情報システムエンジン、RDBMS、アプリケーション

等から構成し、保守性の高いシステムであること。

(エ) 設定変更等で行える軽微な修正は、保守の範囲で実施すること。

④ 管理機能

「奈良市地図情報公開サイト」の管理者が「公園遊具損傷等通報システム」の投稿機能において、以下のシステム設定変更が行えること。

(ア) 管理者は自由入力(コメント等)の削除を行うことができる。尚、投稿者のニックネームは自由入力することが可能とする。

(イ) 管理者は自由入力(コメント等)、ニックネームの文字数を制限することができる。

(ウ) 「公園・緑地」「施設」「樹木」以外の投稿ができるように投稿種類の追加が行えるようにする。

(エ) 管理者は選択式項目の項目追加(公園遊具+景色)を行うことができる。

(オ) 管理者は追加した項目のプルダウンを設定することができる。

(カ) 管理者が利用規約の修正が行えるようにする。

(キ) 管理者が追加できる投稿機能の種類は原則「公園遊具損傷等通報システム」の1種類とする。

(ク) 管理者は凡例の作成・設定ができるものとする。

1-3 避難管理システム(他システム)連携機能

(1) 概要

他システムから登録される避難所の開閉状況や混雑状況を庁外に公開する機能

(2) 要件

① データ連携仕様

(ア) 避難所受付システムから地図情報公開サイトに送られた CSV ファイルを受領する。

(イ) 受領した CSV ファイルの内容から避難所状況(避難所番号、現在の収容人数等)を取得し、マップの避難状況を更新する。(取得する避難所情報は、更新時点で最新 CSV から取得すること)

(ウ) 避難状況の更新間隔は 5 分～10 分程度とし、災害時等、地図情報公開サイトにアクセスが集中した際もシステムが安定稼働可能な更新間隔を設定すること。

② 避難所状況のアイコン表示(平常時と災害時)

(ア) 平常時、避難所のアイコンは 1 種類(未開設)とする。

(イ) 災害時、避難所のアイコンは 3 種類とし、収容可能残数でしきい値を設定する。

(残収容可能人数が 51 名以上: 青色、11～50 名以上: 黄色、10 名以下: 赤色)

③ その他留意事項

(ア) 本業務ではデータ作成作業は含まない。避難所マップに搭載する初期データとして避難所の図形データ(座標、避難所番号、最大収容人数を含むもの)は発注者が提供する。

(イ) 大雨時(風水害等)におけるサーバスペックの確保については、年に 3 回程度を想定するものとする。

(ウ) 避難訓練に関する対応は、年に 1 回程度実施するものとする。